

事項一〇「ペルー」移民関係雑纂

二八四 一月二十五日 在里馬森領事ヨリ
石井外務大臣宛（電報）

秘露国サン、アグスチン耕地行移民契約承認ノ件

号外

一昨年森岡 San Agustin 契約期限延長シ本年五月迄ニ夫婦二十五組ノ代リニ男子五十名供給方承認セリ

二八五 一月二十八日 坂田外務省通商局長ヨリ
西久保警視總監宛

秘露国サン、アグスチン耕地行移民取扱変更

ノ件

通送第五一三号

森岡移民合名会社ニ対シ客年一月十一日秘露国「サン、アグスチン」耕地行移民夫婦百組渡航取扱方承認相成居候処今回在里馬森領事ヨリ該移民ノ契約期限ヲ延長シ本年五月迄ニ夫婦二十五組ノ代リニ男子五十名ノ供給方ヲ認メタル旨電報有之候ニ付該移民ノ未渡航残数二十五組アリヤ御取

ヤオ港ニ於テ別表記載ノ通り逃亡者四名、死亡者一名ヲ出シ候

（別表）

森岡移民合名会社取扱移民配置表

大正四年十一月十四日カヤオ港着安洋丸

上陸港 セロ、アスール港	耕地名 カニエテ耕地	県名	男	女	計
		沖繩県	一〇	一	一〇
		広島県	三九	一	三九
		熊本県	二〇	一	二〇
		宮城県	六	一	六
		静岡県	三	一	三
		山口県	五	一	五
		福岡県	一四	一	一四
		山梨県	七二	一	七二
		北海道	六	一	六
		新潟県	一	一	二
		栃木県	一	一	二
	計		一七八	一七八	一七八
サラベリイ港	ラレド耕地	県名	男	女	計
		熊本県	四	一	五
		福岡県	三	一	四
		広島県	四	一	五
		静岡県	一	一	二
		計	一二	四	一六

調ノ上右残数アラハ男五十名ノ募集ヲナスモ差支無之候条其旨同取扱人ニ御示達相成度候也

二八六 二月九日 在里馬森領事ヨリ
石井外務大臣宛

森岡移民合名会社及東洋移民合資会社取扱移民到着ノ件

公第六号

大正五年二月九日

在里馬領事 森 安三郎（印）

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

移民取扱人森岡移民合名会社取扱移民男女二百三十名並東洋移民合資会社取扱移民男十名ハ客年十一月十四日カヤオ港到着ノ安洋丸ニテ尚又本年一月十五日カヤオ港着静洋丸ニテ森岡移民合名会社取扱男女百四十四名、東洋移民合資会社取扱男女七十二名到着別表ノ通り各契約耕地ヘ輸送セラレ候、右報告申進候 敬具

追而本年一月十五日到着森岡移民合名会社取扱移民中カ

東洋移民合資会社取扱移民配置表

大正四年十一月十四日カヤオ港着

カヤオ港	外ニ携帶見ハ サンアグスチン耕地	山口県	福島県	山梨県	計
		五	二六	二五	五六
		一〇	二	二	一四
		二	一	一	四
	合計	二〇四	二六	二二	二五二

上陸港 チムボテ港	耕地名 タムボ、レア ル耕地	県名	男	女	計
		福岡県	四	一	五
		大分県	一五	一	一六
		熊本県	一〇	一	一一
	合計		二九	三	三二

森岡移民合名会社取扱移民配置表

大正五年二月十五日カヤオ港着

上陸港 サラヴェリイ港	耕地名 チクリン耕地	県名	男	女	計
		熊本県	一二	一	一三
		沖繩県	九	一	一〇
		福岡県	四三	一	四四
		山梨県	二〇	一	二一
		山梨県	三八	一	三九
		計	一〇五	四	一〇九

静岡県	六	一	一	七
島根県	一	一	一	一
北海道	一	一	一	一
合計	一三四	一〇	一四四	一

外ニ広島県四名カヤオ港ニ於テ逃亡、山口県一名死亡セリ

東洋移民合資会社取扱移民配置表

大正五年一月十五日カヤオ港着

上陸港	耕地名	県名	男	女	計
サマソコ港	サン、ホセ、イ、スーテ耕地	福島県	一六	二	一八
		福井県	一三	一	一四
		岡山県	一八	二	二〇
		広島県	五	二	七
		大分県	八	一	九
		福岡県	六	一	七
		熊本県	五	二	七
		長崎県	二	一	三
		合計	六三	九	七二

二八七 四月十八日 在里馬森領事ヨリ 石井外務大臣宛

本邦移民ニ関スル秘露新聞記事送ノ件

公第二一号

(六月十二日接受)

可ク些々タル記事ナガラ等閑ニ附スヘカラサル儀ト思考被致候ニ付内々右記事掲載ノ動機等ニ関スル裏面ノ消息探索中ニ有之候尚当方ニ於テハ更ニ一層注意シ這般悪声ノ防遏ニハ努力可致候得共移民募集ニ際シテモ充分純農ノ精選ヲ努ムル様移民取扱人ヘ対シ其都度御訓達相仰度此段御參考迄ニ別紙新聞記事訳文相添報告申進候 敬具

(別紙)

(訳文)

「ラ、プレッサ」紙掲載

日本労働者ノ入国ニ就テ

二三日前数十名ノ支那人ト共ニ北方農作地ニ就働ス可キ契約日本人二百名「カヤオ」ニ到着シタリ
亜細亜人ノ移住並ニ其ノ人種上ノ好シカラザル結果ニ関シテハ從來諸種ノ場合ニ於テ表白セラレタル所ニテ吾人ハ茲ニ之ヲ反覆セザルモ我国ノ如ク多種多様ノ住民ヲ有シ其他人種上ノ欠点ニ映セラレタル国ニ取りテハ此人種上ノ見地ガ一国ノ将来ニ関スル最重要ナルモノノ一タルコト蓋シ疑ヲ容レサル所ナリ

亜細亜人労働者秘露入国問題ガ現在並ニ其争フ可カラザル

大正五年四月十八日

在里馬

領事 森 安三郎(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

当国新聞紙上本邦移民ニ対スル排斥の記事ハ近年絶ヘテ之レヲ見サリシニ本年一月十四日東洋汽船会社静洋丸ニテ多数ノ本邦移民来着ノ際当地「ラ、プレッサ」並ニ「エル、コメルシオ」紙上ニ別紙ノ如キ記事掲載セラレ越エテ三月廿五日ニ至ツテ更ニ「ラ、クロニカ」紙ニ「里馬ニ於ケル日本人」ト題スル排日的ノ記事掲ラレ其動機ノ那辺ニアルヤハ未ダ確實ニ之ヲ知ルコトヲ得ズ候得共本邦移民力統々都市ニ集リ来リテ当地人ノ小商業ヲ奪フコトガ当國中流以下ノ人士ニ不快ノ感ヲ与フルコトハ否ムヘカラサル事實ニテ耕地労働ニ適セザル多数本邦移民ノ渡航力其直接ノ原因タルコト亦明白ナル所ニテ從來絶ヘズ及具申候通り純農移民ノ精選ハ今後其最モ嚴重ノ取締ヲ要スル次第ニ有之候、今日ニ於テ警戒ヲ嚴重ニセサレハ排日ノ声漸次下層階級ノ間ニ伝播スルニ至リ其一度彼等ノ間ノ流行語トナリ政治家等ノ口実トナルニ至ラハ亦如何トモスルコト能ハザルニ至ル

将来ノ結果ニ関スル經濟問題ニ関スル以上吾人ハ之ヲ熟考スル必要アリト信ス

国内ノ各所ニ於テ労働不足ノ為メ最モ困難ナル境遇ニ陥レル多数ノ職工或ハ労働者アルコトハ当国新聞紙ノ屢々痛嘆セル所ニシテ且ツ或ハ任意的ニ或ハ職務上公共事業ノ研究ニ従事セル他ノ団体ニ於テモ熱心ニ之ヲ討議シ又現ニ之ヲ攻究シツツアルハ事實ニシテ試ニ一例ヲ挙クレバ「アレキパ」県及其他ノ諸県ニ於テ数百名ノ労働者ガ彼等ガ先頃同一地ニ於テ管メタル悲惨ナル経験ヲ忘却シ或ハ忘却スルヲ余儀ナクセラレテ最近又「タラバカ」硝石地行労働契約ヲ為シタルガ如キ之ナリ

サレバ何故ニ我耕地主ハ絶ヘズ日本人労働者ヲ招致スル代リニ余儀ナキ罷業ノ境遇ニ在ル秘露労働者ヲ使役セサル歟又何故ニ彼等ニ其必要トシ且ツ其ノ要求スル労働ヲ与ヘサル歟日本人ハ暫時ノ後ニハ日傭労働者タルヲ罷メ耕地ヲ出テテ都会ニ移住シ嚮テ商人ト変シ秘露国人ヲ驅逐スルカ若クハ少クトモ破壊的競争ヲナスニ非ラスヤ

前述ノ如キ意味ノ試験ハ從來トモ試ミラレタル所ナルカ農業会社ニ取り有利ナル結果ヲ齎サザリキ如何トナレバ各甘

蔗耕地ニ契約セラレタル秘露労働者ハ耕地ニ於ケル労働上ノ要件並ニ其習慣ニ適合セザレバナリ然レトモ同シク日本人ガ之レニ適セザルハ吾人ノ述ヘ来リシ所ニシテ亦普ク世人ノ熟知セル所ナリ、而シテ若シ耕地労働者ノ欠乏アリトセバ耕地主タルモノ慎重ニ本問題ヲ攻究シ尚契約上能フ限りノ改正ヲ行ヒ愛國的行爲トシテ弘ク之レヲ知ラシメ且根氣能ク之ニ努メ以テ仕事無クシテ無為ニ暮セル——一身上ニ取リテモ亦一国ノ利害ヨリ見ルモ損害トシテ——余剩國人労働者ノ利用ニ尽力スルコト当然ニシテ而モ最モ有利ナル所置タルナリ

当国ニ必要ナル協力ヲ供与スル為メ入国スル移民ノ如キ而モ其協力ニシテ國家發達ノ要素タル天然富源ノ開拓又ハ産業ノ發達ニ資スルニ足ルモノナラバ人種問題ハ之ヲ忘却ス可ク寧ロ忘却スルヲ可トスヘシ從ツテ是等ノ人々ニ對シ反抗シ或ハ之レヲ輕視スルノ必要ナキナリ

然レトモ是ヲ越ヘ或ハ明ニ秘露人職工及商人ノ競争者タルニ過サル如キハ——農業上ノ必要ヲ主張スルモ其実此種ノ移民ハ農業上ニ於テモ満足スヘキモノニアラス——吾人ノ判断ニヨレバ之レカ口賢シキ弁明ヲ許ス可キモノニアラ

ニ知ラレタル老群島ニ於ケル特種ノ募集人ニヨリ撰択セラレ来リシモノナリ

当共和国北方ノ耕地主等ハ農作ニ要スル労働者ノ渡来ヲ希望シ自己ノ利益ヨリシテ当国温帯地方ニ於ケル甘蔗耕地ノ耕作ニ使役セン為メ「近東」ヨリ低廉ニシテ且ツ強壯ナル労働者ヲ招致スルヲ便宜ト思考シ彼ノ繪ノ如キ嶋々ニ過剰セル「ミカド」ノ臣民ヲ撰ミシナリ

斯クシテ体軀矮小、容貌粗野ニ、且ツ應對ノ虚偽ニシテ利己的ナル日本人ハ際限ナク来航シ始メ、不健康ニシテ病身ナル植民ハ契約ニヨリ「ローマ」「カサ、グランデ」「ラレド」「ツマン」「カヤルケ」、英國製糖会社耕地其他ノ豊沃ナル大耕地ニ就働スベク来レリ然レトモ比較的激甚ナル野外労働ニ堪ヘ得可キ強壯者モ有用ト思ハレシ場所ニ於テ期待セラレタル好成绩ヲ挙クルコト能ハザリキ

國人労働者トノ危険ナル軋轢ヲ避クル為メ各耕地ニテハ日本移民ノ為メ特別区域ヲ設ケ与ヘタリ、然ルニ彼等ハ常ニ疾病ニ罹リ其ノ住屋ノ門前即チ「チキトイ」耕地ニ於ケル如キ開放セル街道ニ海滨ニ打寄セラレタル魚類ノ如ク横臥セルヲ見タリ

ズ。

(前略)「エル、コメシオ」紙掲載

是等ノ苦力、北方耕地ニ就働ス可キ日本移民二百八十名ノ上陸ニ際シ、夕刻頃棧橋及其附近ニ好奇心ニ驅ラレ或ハ職務上其場所ニ居合セタル雜沓セル群衆ハ亜細亞人ノ入国ヲ見物セントシテ彼処ニ聚合セルヲ見タリ

吾人ノ間ニ已ニ数千名ニ達シタル黄色移民ガ絶ヘズ且ツ益々多人數ニテ渡来スルニ對シ騒然抗議ヲナセルヲ聞キタリ云々。

「ラ、クロニカ」紙掲載

里馬ニ於ケル日本人

彼等ノ小商売

氷売ヨリ古物商

「ドクトル、パルト」氏ノ最初大統領在職中如何ニシテカ又何故カモ知ラサレトモ秘露国沿岸耕地ニ驚ク可キ日本移民ノ發達ヲ見タリ彼等ハ思フニ「ヒパンガ」「ナパンガ」又ハ「ニッポン」ノ名称ノモトニ昔時彼岸大陸ノ亜細亞人

サレバ彼等ハ自身ニ農作労働ニ不適当ナリト知ルヤ蒼白ナル顔白、亜細亞風ニ吊上レル眼ニ其虚弱ナル体軀ヲ引摺リツツ団体ヲナシテ里馬ニ根拠ヲ据ヘント出テ来レリ、彼等ガ募集人トノ間ニ記名調印シタル契約ヲ破棄シテ来リタルヤ否ヤ之レヲ知ラズ日本人ハ自ラ露西亞ノ征服者ナリト考ヘ居ルモ一方露西亞人ニハ二仇敵即チ距離ノ遠隔及西比利亜鉄道ノ不備アリタル事実ヲ彼等ハ考慮スルヲ欲セサルカ或ハ之レヲ知ラザルカ但シハ了解シ能ハザルナリ、而シテ多大ノ犠牲ヲ払ヒ高価ナル戦勝ヲ克チ得列強ノ班ニ列シタルガ今日ニ在リテハ慥カニ植民国タラント望ミツツアリ、亦彼等ノ僅少ナル歐洲戦争参加ハ彼ノ在桑港日本人定住問題ノ強硬ナル交渉ニ際シ彼等ノ希望ノ保障タルニ外ナラズ而モ彼等ノ帝國主義的野心ハ幸ニモ「パナマ」運河ノ半公式開通ニ依リ阻止セラレタリ

前述ノ如キ形式ト条件トニテ彼等日本移民ハ一度里馬市中ニ居ヲ据フルヤ先ツ開拓ニ容易ナル小商業ニ着目シ國人(土人)ヲ驅逐スルナリ例ヘバ小兒ヲ相手トシ各種ノ形状色彩ノ駄菓子ヲ大道ニ売り歩クト見レバ驢デ同一人ハ氷売ト変リテ再ビ街上ニ現ハレ安価ニ氷ヲ削リテ利益ヲ得、吾

人ハ如何ニ数多ノ買客ガ日本の利得即チ九割掛ケ商人ノ店頭ニ蟬集スルカヲ見ル、

次ニ日本人ハ技術家トシテ公衆ノ顔ヲ剃リ頭髮ヲ刈リ而モ從來ノ価額ヨリ十仙ヲ値下シ以テ国人理髮業者ニ取り忍ビ難キ且ツ苦痛ナル競争ヲ敢テシタレバ多数ノ当国理髮業者ハ止ムナク自己及家族ノ自活ノ道ヲ彼等ニ譲リ渡スニ至レリサレバ今日里馬市ノ中心ヨリ遠リタル何処ニ行クモ当国人ノ理髮業者ハ殆ント之レヲ見サルト同時ニ日本人理髮店ノ名ハ普ネク知レ渡ルニ至リ最近一戯曲家ハ「日本人理髮業」ト題スル一作ヲ出版シタリ

日本人ハ支那人ノ如ク射倖心ニ驅ラレ博奕ヲ為サズ利害得失ヲ外ニシ一種ノ娛樂トシテナスモノナリ唯彼等ノ住居ニ至リテハ支那人ト撰フ所ナク稍々清潔ナル小屋ニ五人乃至六人位一団トナリ起臥シ飯釜其他ハ一家族ノ如ク共同ニ使用シ以テ過分ニ亦彼等ガ吾人ニ負フ以上ニ蓄財ヲナスガ故ニ組織的ニハ不生産者ナリサレバ此等ノ不生産の利己主義者ノ団体ハ吾人ニ取り何等益スルトコロナク且尚未ダ文明ノ初期ニ在ル当国ニハ無用ナリ、忍耐強ク且ツ吾人ニ知ラレザル秘訣ヲ有シ加之或ル有力者ノ後援ヲ受ケ当国ニ於ケ

属スル人士ノ外国風ノ嗜好ニ適セル家具ヲ製作シ居ルガ同工場ニ使用サル職工ハ全部日本人ニシテ彼等ハ固有性ニ依ルカ又主人ノ強制ニ依ルカ常ニ沈着ナル人々ニ見ルカ如ク孜々トシテ一日モ業務ヲ怠ルコトナク根氣ヨク生活シツツアリ、

日本人ニヨリ独占セラルル前述ノ小商業ハ料理人並ニ洗濯業ナルガ懸テハ質屋商人タルニ至ルベシ

吾人ハ或ル商業ニ表面上現バレタル彼等ノ愛想好キ懶惰ノ傾向ヨリ之ヲ推測スルモノナリ併シ殆ンド不用意ニ秘露ニ渡来セル人々ガ容易ニ且ツ上品ニ生活シ多少トモ我國ノ現状ヲ侮慢スルニ至ル程ノ余裕ヲ享有スルニ至ルヲ得ルハ何故ナル歟当国社会ニハ之レニ対スル弁明ノ辞アリ以テ之レニ答ヘン。

二八八 五月十九日 在里馬森領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

秘露国タンボ、レアル耕地行移民契約承認ノ件

号外

東洋 Tambo Real 男女百五十名新契約承認セリ条件前同

一〇「ペルー」移民関係雜纂 二八八 二八九

ル生存競争ニ保障ヲ有スル日本人ハ社交俱樂部、上流社会、並ニ嚴格ナル家庭ニ出入スルニ至レリ

尚茲ニ最モ奇怪ニ堪ヘザルハ当国外交官ニテ日本臣民ヲ特ニ信用アル從僕トシテ使役シ居ルコトナリ然レトモ曾ツテ星条旗ヲ飄セル合衆国軍艦ノ甲板上ニ某提督ガ其旧僕タリシ日本海軍々人ニ邂逅シタル事実ヲ知ラバ思ヒ半ニ過クベシ、

不体裁ナル商売ヲ試ミ尚充分ニ自活ノ道ヲ得ザリシ彼等ハ更ニ当国人男女ノ大多数ノ経営スル小商売ニ向ツテ競争ヲナシ損害ヲ与ヘタリ、

彼等ハ古家具売買ニ従事シタリ而シテ此等ノ古家具ハ勿論風儀悪シキ家々ヨリ買取ルモノニシテ例ヘバ此利益潤沢ナル商売ハ無頼ノ徒及売春婦等最モ多キ所ニ存在スルナリ本紙ニ掲載スル写真ハ「ヤパリオ」街ニアルモノニシテ不快ニ堪ヘサルモ茲ニ読者ノ便覽ニ供ス

氷売ヨリ理髮業ニ理髮業ヨリ古道具商ニ尚進ンデ大工業ニ迄発展シタルガ抑々日本人ガ当国人中ニ割込ミ経営セル右諸職業ノ内蓋シ大工業コソ最モ強キ頸敵ナル可シ、橘谷商会ハ「メサ、レドンダ」街ニ大工場ヲ設ケ諸種ノ階級ニ

様

二八九 五月十九日 在里馬森領事ヨリ
石井外務大臣宛

東洋移民合資会社及「ペルー」ビアン、シュガ
I、エステート」会社間移民供給契約証認ノ件

公第二四号 (六月二十八日接受)

大正五年五月十九日

在里馬森領事 森 安三郎(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

「アンカッシュ」県「サンタ」原野所在「ペルー」ビアン、シュガー、エステート」会社所有「タムボ、レアル」耕地へ本邦移民男女百五十名ヲ供給セントスル同会社、東洋移民合資会社間本年五月十七日附契約

本契約ハ之ヲ同会社間最近締結ノ昨年五月十七日附契約ト比較シ第一条ニ於テ移民ノ員數ヲ百五十名トセシ外他ニ何等ノ差異ヲ見ス

前契約ニヨリ昨年九月中入耕シタル本邦移民九十九名中今日迄ニ逃亡又ハ放逐セラレタル者三十四名、死亡者皆無ニ

シテ現在居留者六十五名ヲ算シ居リ、又入耕以來本年三月末日迄ノ労働成績ヲ見ルニ最モ良好ナルモノハ百八十タレアラフシ平均百五十タレニアニ相当シ約二ケ年ヲ以テ予定ノ五百タレアラフ完済シ得ヘキモノノ如ク且又耕地側ノ本邦移民待遇法其他賃銀仕払振等ニ就テモ何等非難ノ報ニ接シ居ラス從テ新契約ハ之ヲ証認シ差支無之ト思考致候ニ付本日之ヲ証認シ尙東洋移民合資会社代理人ヨリ依頼ニヨリ電報ヲ以テ右証認ノ事実及具報候次第ニ有之候此段報告申進候

敬具

二九〇 五月二十三日

川田東洋移民会社社長ヨリ
石井外務大臣宛

秘露国タンボ、レアル耕地行契約移民ニ係ル

書面契約案承認願提出ノ件

大正四年六月三日附ヲ以テ御承認相受候秘露甘蔗耕地株式会社ノ経営ニ係ル同国「アンカシユ」省「サンタ」州所在ノ「タムボ、レアル」耕地行本邦移民供給契約ト全然同一条件ニテ令般更ニ該社ヨリ本邦移民男女老百五十拾名ノ供給方注文相受候ニ付テハ移民對弊社間書面契約ノ義ハ別紙ノ通り従前ノ分ヲ其儘使用仕度候間御承認被成下度此段奉願

上候也

大正五年五月廿三日

東京市京橋区新肴町拾番地

東洋移民合資会社

社長 川 田 鷹(印)

註

本件書面契約案承認願ハ警視庁ヲ經由シ同庁ヨリ大正五年五月二十五日発送進第一一五三号ノ二ヲ以テ送附越セリ尚別紙關係書類ハ省略セルガ大正四年第一卷一八八文書參看

二九一 五月二十九日

在里馬森領事ヨリ
石井外務大臣宛

「サン、アグスチン」耕地行移民証認ノ件

公第三三三号

(八月十五日接受)

大正五年五月二十九日

在里馬領事 森 安三郎(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

夫婦移民老百組供給方ニ關スル千九百十四年十一月十九日附森岡移民合名会社及「サン、アグスチン」耕地間締結大正三年十一月二十五日証認ノ契約ニ基キ森岡ハ昨年五月ヨリ同十一月迄ニ二十九夫婦ヲ又本年一月右契約期限ノ延長

及移民種類ノ變更ヲナシ去ル五月迄ニ男子五十名(内一名ハ渡航途中逃亡)即チ合計老百八名ノ男女ヲ供給シ現ニ猶夫婦四十六組ノ残數有之候処今般耕地側ノ希望ニヨリ更ニ右期限ヲ延長シ且ツ前記殘員四十六夫婦ヲ夫婦二十五組及男四十二名ニ變更方証認ヲ森岡ヨリ願出候
同耕地ニ於ケル契約移民現在數ハ合計八十八名ニシテ内十三名ハ第壹回契約ニ係ルモノニシテ他ノ七十五名ハ悉ク本契約ニヨル移民ニ有之候
其成績ヲ見ルニ左ノ通ニシテ

到着時	到着數	逃亡數	在留數
大正四年五月着	三八	六	三三
同 九月着	一八	一二	六
同 十一月着	二	〇	二
同 五年五月着	着 四九	一四	三五
合計	外ニ途中逃亡一 一〇七	三二	七五

健康狀態ニ就テハ罹病者割合ニ少數ニシテ且ツ病死者ノ皆無ナルトニヨリ概シテ良好ナリト云フヲ得ヘク、而シテ最近到着者ノ逃亡率多キハ要スルニ移民素質ノ不良ニ起因スルモノニシテ責ヲ撰撰ノ杜撰ニ歸セサルヲ得ス即チ若干數

ニ十三夫婦男子二十四名ヲ、更ニ同十一月迄ニ残数供給方証認セリ最近到着移民ノ撰択方不良ナリ

猶森岡「サンニコラス」男子百名、新契約証認セリ条件昨年十一月「ツマン」契約ト同様

右報告申進候 敬具

二九二 六月二日 坂田外務省通商局長ヨリ 西久保警視總監宛

秘露国タンボ、レアル耕地行移民ニ関スル書

面契約案承認ノ件

通送第三七五七号

客月廿五日附進第一一五三号ノ二ヲ以テ御進達相成候貴管下移民取扱人東洋移民合資会社ヨリ提出シタル秘露国タムボ、レアル耕地行契約移民ニ関スル書面契約案承認願ニ対シ別紙ノ通詮議相成候ニ付右申請者ニ御交付相成度此段申進候也

(別紙)

第三九号

書面契約案承認指令書

移民取扱人

テ森岡移民合名会社取扱八十六名東洋移民合資会社取扱男二名到着別表ノ通り各契約耕地へ輸送セラレ候右報告申進候 敬具

(別表)

森岡移民合名会社取扱移民配置表

大正五年三月十八日カヤオ着紀洋丸

上陸港	耕地名	県名	男	女	計
サラヴェリイ港	チクリン耕地	熊本県	三	三	六
		福島県	七	七	一四
		山梨県	一	一	二
		沖縄県	二	二	四
		福岡県	一	一	二
		計	一四	一四	二八
(外ニ携帯児五名)					
エテン港	ツマン耕地	福島県	五	三	五三
		広島県	一	三	一三
		静岡県	五	一	一五
		宮城県	一	一	一一
		山梨県	四	一	一一
		長野県	一	一	二
		計	八七	八七	一八七

東洋移民合資会社取扱移民配置表

東洋移民合資会社

社長 川田 鷹

大正五年五月廿三日附秘露国タムボ、レアル耕地行契約移民男女通計壹百五十名取扱ニ関スル書面契約案承認願出ノ件

右承認ス

大正五年六月二日

外務大臣男爵 石井菊次郎 (印)

二九三 六月十六日

在里馬森領事ヨリ 石井外務大臣宛

森岡移民合名会社及東洋移民合資会社取扱移民到着ノ件

公第三〇号

(七月二十七日接受)

大正五年六月十六日

在里馬領事 森 安三郎 (印)

外務大臣子爵 石井菊次郎殿

移民取扱人森岡移民合名会社取扱移民男女百拾五名並ニ東洋移民合資会社取扱男女二十六名ハ本年三月十八日カヤオ港着紀洋丸ニテ尚又本年五月二十三日カヤオ港着安洋丸ニ

大正五年三月十八日カヤオ着紀洋丸

上陸港	耕地名	県名	男	女	計
サマンコ港	サン、ホセ、イ・スーテ耕地	福島県	二	一	三
		岡山県	一	一	二
		福岡県	二	一	三
		計	二五	一	二六

森岡移民合名会社取扱移民配置表

大正五年五月二十三日カヤオ港着安洋丸

上陸港	耕地名	県名	男	女	計
サラヴェリイ港	チクリン耕地	福島県	八	二	一〇
		広島県	一	三	四
		熊本県	一	一	二
		計	二六	六	三二
(外ニ携帯児二名)					
エテン港	ツマン耕地	福島県	五	五	一〇
		計	五	五	一〇
カヤオ港	サンアグスチン耕地	熊本県	二〇	二〇	四〇
		山梨県	九	九	一八
		計	四九	四九	九八

東洋移民合資会社取扱移民配置表

大正五年五月二十三日カヤオ港着安洋丸

上陸港	耕地名	県名	男	女	計
サマソコ港	サン、ホセ、イ・スーデ耕地	福島県	二	一	二
	計		二		二

二九四 六月二十八日 保田森岡移民合会社代表社員ヨリ 石井外務大臣宛

秘露国ローマ耕地行契約移民二係ル書面契約

案承認願提出ノ件

今般南米秘露国ローマ耕地所有者ヴィクトル、ラルコ氏ノ代表者グラムロー商会トノ間ニ契約移民男老百名夫婦拾五組ノ供給契約ヲ締結仕候ニ付弊社ト移民間ニ締結スヘキ書面契約案別紙ノ通使用仕度候間右御承認被成下度関係書類相添ヘ此段奉願候也

大正五年六月廿八日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民合名会社

代表社員 保田 亀太郎 (印)

事ヨリ電報ノ次第有之候ニ付同移民取扱人ニ対シ純農優良移民ヲ選択スル様特ニ御注意相成度候

二九六 六月二十九日 在里馬森領事ヨリ 石井外務大臣宛

森岡移民合名会社及サンニコラス農事会社間

本邦移民供給契約証認ノ件

公第三四号 (八月十五日接受)

大正五年六月二十九日

在里馬領事 森 安三郎 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

里馬県「チャンカイ」郡「スーペ」原野所在「サンニコラス」農事会社ヘ六ヶ月間ニ本邦男子移民老百名ヲ供給スヘキ本年六月二十一日附契約

本契約ハ曩ニ改訂セラレタル森岡移民取扱人、諸耕地間ノ普通契約書ノ形式ニヨリ作製セラレタルモノニシテ員数及到着港ヲ異ニセル外昨年十二月十七日証認ノ「ツマン」耕地トノ契約ト全然同様ナルカ之ヲ大正二年十二月五日附同耕地トノ前契約ニ比スレハ其異ナル所左ノ如シ

第一条ニハ男女百五十名トアリシヲ男子百名トナス

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

註 本件書面契約案承認願ハ警視庁ヲ經由シ同庁ヨリ大正五年七月五日發送進第一六七一号ノ二ヲ以テ送附越セリ尚別紙関係書類ハ省略セリ

二九五 六月二十九日 坂田外務省通商局長ヨリ 西久保警視總監宛

秘露国各耕地行契約移民供給方ニ関スル件

通送第四三一六号

客年二月八日附ヲ以テ森岡移民合名会社ニ対シ秘露国「サン、アグスチン」耕地行契約移民夫婦百組取扱方承認致シ置候処現在該移民ノ未渡航者残数夫婦四十六組ヲ夫婦二十五組男子四十二名ニ變更シ本年九月迄ニ夫婦十三組男子二十四名ヲ供給シ更ニ同十一月迄ニ残数供給方承認シタル旨並ニ森岡移民合名会社扱「サンニコラス」耕地行契約移民男子百名ニ対シ本年一月十三日当省ニテ承認セル同国「ツマン」耕地行移民ト同様ノ条件ヲ以テ新契約締結ヲ承認シタル旨本月廿四日在里馬森領事ヨリ電報有之候条此段御報申進候也

追テ最近渡航セル移民ノ選択ハ不良ナリシ旨在里馬森領

第十一条ニハ前契約ニ規定セサリシ移民ニシテ最初二箇年ヲ満了シタル後引続キ耕地ニ止ランコトヲ望ム場合ニハ耕主ハ同様各二年毎ニ五磅宛ノ賞与金ヲ支払フヘキ旨ヲ規定シアリ

猶前契約ノ追加規定ハ独身男子五十名ヲ先ツ甘蔗切ニ使用スヘキ旨ヲ規定セルモノ外ハ全部夫婦移民ニ関スル条項ニシテ新契約ニハ之ヲ删除セリ

前契約ニ基キ入耕シタル移民ノ成績ヲ見ルニ

到着時	到着数	逃亡数	死亡数	在留数
大正三年六月	五〇	一八	一	三一
同 八月	六	五	〇	一
同四年一月	五四	五(内二名ハ放逐)	二	四七
同 三月	二八	〇	三	二五
計	一三八	二八	六	一〇四

ニ有之逃亡率ハ漸次減少ヲ示シ且ツ耕地側ノ態度ニ関シ何等惡評ヲ耳ニセス移民ハ満足ニ従業致シ居ル状況ニシテ今回ノ新移民ノ為メ医師ノ新設計ノ下ニ新家屋ヲ本年中ニ建造シ尚鉄管ニヨリ飲用水ヲ供給スル為メ目下「タンク」工

事中ノ趣ニ有之候

右狀況ニ鑑ミ新移民ヲ入ルルニ何等不都合ノ事情モ無之ニ付右契約ニ対シ二十三日ヲ以テ証認ヲ与へ、森岡ノ依頼ニヨリ別信「サンアグスチン」耕地契約延期及移民種類變更証認ノ件ト共ニ電報ヲ以テ及具報置候次第ニ有之候
右報告申進候 敬具

二九七 七月七日

在里馬森領事ヨリ
石井外務大臣宛（電報）

秘露国力ニエテ耕地行契約移民ニ関シ供給契約追加ノ件

号外

英製糖森岡昨年十一月契約ニ夫婦移民携帯児二名限り及女子年齢十七歳以上ノ二項追加ノ件承認セリ

註 本件ハ七月十一日附外務省通商局長ヨリ西久保警視總監宛
通送第四五六一号ヲ以テ通牒セラレタリ

二九八 七月七日

保田森岡移民会社代表社員ヨリ
石井外務大臣宛

秘露国サンニコラス耕地行契約移民ニ係ル書面契約案承認願提出ノ件

紙関係書類ハ省略シタリ

二九九 七月十四日

坂田外務省通商局長ヨリ
西久保警視總監宛

秘露国サンニコラス耕地行契約移民ニ関スル書面契約案承認ノ件

通送第四六四四号

本月十一日附進第一七三七号ノ二ヲ以テ御進達相成候貴管下移民取扱人森岡移民合名会社ヨリ提出シタル秘露国サンニコラス耕地行契約移民ニ関スル書面契約案承認願ニ対シ別紙ノ通詮議相成候ニ付右申請者ニ御交付相成度此段申進候也

（別紙）

第五〇号

書面契約案承認指令書

移民取扱人

森岡移民合名会社

代表社員 保田 亀太郎

大正五年七月七日附秘露国サンニコラス耕地行契約移民男

今般南米秘露国サンニコラス耕地所有者サンニコラス農業会社トノ間ニ本年七月拾参日承認ノツマン及カルーベ耕地契約ト同一条件ヲ以テ契約移民男百名ノ供給契約ヲ締結仕弊社ト移民間ニ締結スヘキ書面契約案別紙ノ通り使用仕度候処右耕主契約書ハ既ニ領事ノ御承認ヲ經テ目下回送中ニ有之候耕主ヨリ最近便ニテ送付方申越候ニ付テハ右本書到着ヲ俟チ出願候テハ募集期間僅少ニテ間ニ合ヒ兼候ニ付特別ノ御詮議ヲ以テ別紙移民トノ契約書案御承認被成下度候関係書類相添此段奉願候也

大正五年七月七日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民合名会社

代表社員 保田 亀太郎（印）

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

追テ右契約締結ノ旨在秘露領事ヨリ御省宛発電候趣ニ付此段申添候也

註 本件書面契約案承認願ハ警視庁ヲ經由シ同庁ヨリ大正五年七月十一日発送進第一七三七号ノ二ヲ以テ送附越セリ尚別

百百名取扱ニ関スル書面契約案承認願出ノ件

右承認ス

大正五年七月十四日

外務大臣男爵 石井菊次郎（印）

三〇〇 八月十日

在里馬森領事ヨリ
石井外務大臣宛

森岡移民合名会社取扱移民到着ノ件

公第三九号

（十月九日接受）

大正五年八月十日

在里馬領事 森 安三郎（印）

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

移民取扱人森岡移民合名会社取扱移民男女二百六名外ニ携帶児八名本年七月二十一日カヤオ港着静洋丸ニテ到着別表ノ通り契約耕地ヘ輸送セラレ候右報告申進候 敬具

森岡移民合名会社取扱移民配置表

大正五年七月二十一日カヤオ港着静洋丸

上陸港	耕地名	県別	男	女	計
セロ、アスール	「カニエテ」耕	山口県	三八	一八	五六
港	地	熊本県	二三	八	三一

沖繩県	一三	四	一七
広島県	二六	一〇	三六
福島県	一一	四	一五
新潟県	一四	三	一七
宮城県	一三	一	一四
岡山県	一二	一	一三
茨城県	一一	一	一〇
福岡県	八	二	一
鹿児島	四	一	一
長野県	一	一	一
合計	一五四	五二	二〇六

(外ニ携帯児八名)

三〇一 八月二十六日 在里馬森領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

秘露国ローマ耕地行移民新契約承認ノ件

号外

森岡 Roma 間男子二百名夫婦三十組新契約承認セリ条
件 Tuman 同様

三〇二 八月二十九日 保田森岡移民会社代表社員ヨリ
石井外務大臣宛

秘露国ローマ耕地行契約移民二係ル書面契約

外務大臣子爵 石井菊次郎殿

註 本件書面契約案承認願ハ警視庁ヲ經由シ同庁ヨリ大正五年

九月一日発送進第二二五七号ノニヲ以テ送附越セリ尚別紙
関係書類ハ省略セリ

三〇三 九月一日 在里馬森領事ヨリ
石井外務大臣宛

森岡移民合名会社及ローマ耕地間移民供給契

約証認ノ件

公第四三三 (十一月十八日接受)

大正五年九月一日

在里馬領事 森 安三郎(印)

外務大臣子爵 石井菊次郎殿

「ラ、リベルター」県ツルヒーヨ州チカマ原野所在「ロー
マ」耕地へ本邦夫婦移民三十組及独身男移民二百名ヲ六ヶ
月間ニ供給スヘキ森岡移民合名会社「グラハム、ロー」会
社間本年五月五日附契約

本契約ニ於テハ最初本邦男移民百名夫婦移民十五組ヲ供給
スルコトトナリ居リシモ其後両当事者間ノ協定ニヨリ之ヲ
増加シ男子二百名夫婦三十組トセシモノナルカ契約上ノ条

一〇「ベル」移民関係雑纂 三〇三

案承認願提出ノ件

本年六月廿八日附ヲ以テ秘露国ローマ耕地行契約移民男
百名夫婦拾五組ニ係ル書面契約案認可願提出仕候処右ハ今
般備主契約第一条ニ於ケル契約ノ人員ヲ増加シテ男式百名
夫婦參拾組ニ變更ノ上領事承認済ノ旨入電有之猶右ニ関シ
在秘露帝国領事ヨリ外務省へ公電有之候旨申越候ニ付テハ
右人員ヲ訂正致度及右備主契約書第十條ニ於テ移民ノ到着
港ヲ「ワンチャコ」ト規定致候処輸送ノ便宜上之ニサラベ
リノ一港ヲ加フル件々ニ付交渉中ノ処承認致シ来リ候ニ
付弊社ト移民トノ契約書案第六條ニ於テ「移民カ秘露国ワ
ンチャコ港ニ到着シタルトキヨリ」トアルヲ「移民カ秘露
国ワンチャコ港又ハサラベリ港ニ到着シタルトキヨリ」
ト訂正致度候ニ付右御訂正ノ上至急弊社ト移民間トノ書面
契約案御認可被成下度別紙電報写並ニ到着港追加承認書写
及移民トノ書面契約案相添此段奉願候也

大正五年八月式拾九日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民合名会社

代表社員 保田 亀太郎(印)

件ハ移民ノ員數ヲ除ク外客年九月十七日附森岡、ツマン間
契約ト全然同様ナリ

本契約ハ本官亜爾然丁及智利出張中ニ締結セラレ森岡ニ於
テハ耕地側ト本年十一月迄ニ供約ノ内約アル趣ヲ以テ頻リ
ニ証認方ヲ督促シ来リタルモ新耕地ノコトトテ一応実地視
察ノ上ニアラサレハ証認相成難キ旨回答シ置キ愈客月二十
日親シク同耕地ヲ視察シ何等本邦移民ヲ容ルルニ不都合ノ
点ナキヲ確メタルヲ以テ出張先ヨリ契約証認スヘキ旨電報
シ尚前記ノ事情ニ鑑ミ森岡依頼ニヨリ其旨及電報シメタル
次第ニ有之候

本耕地ハチカマ河ノ流域ヲナセル肥沃ナル大原野中ニアリ
テ「カサグランデ」「チクリン」「カルタビオ」「ケキ
ト」等ノ耕地ニ近接シ其所在地ノ面積三千ファネガダ(一
「ファネガダ」ハ約三町)ニ及ヒ当国ニ於ケル大甘蔗耕地
ノ一ナリ、而シテ現所有主ハ当国上院議員ヴキクトル、ラ
ルロ、ヘンラ(Victor Larco Herrera)ニシテ同人此回
亜爾然丁国ニ於テ大農場ヲ購入シ之カ整理ノ必要上同国ニ
赴クニ付耕地ノ経営ヲ当地ニ於テ信用確実ナル英国会社グ
ラハム、ロー(Graham, Rowe)ニ托スルコトトナリタ

り、製造場ハ広大ナルモ機関旧式ニ属シ目下日々一千五百キントールノ粗糖ヲ製出シ居リ庄搾機ハ十一軒子一時間四十噸ノ庄搾能力ヲ有シ頗ル強力ナルモ其抽出スル糖分百分ノ八十八ニ過キス其他ノ機関ハ「チキトイ」耕地ヨリ購入シタルモノニシテ附近耕地ニ比シ著シク遜色アリ、歐洲戦乱ノ終止ヲ俟テ漸次改善ノ計画ナリト云フ、耕地労働者ノ數ハ現ニ蔗園ニ労働スルモノ七百八人製造場ニ労働スルモノ三百十五人合計一千十五人アリ、全部土人ニシテ本邦人ハ耕地内ニ二十余名居住シ居ルモ多クハ飲食店、理髪店、家内労働ニ従事シ耕地労働ニ従事セルモノハ製造場ニ於ケル數名ニ過キス

労働者住屋ハ近隣チクリン耕地等ニ比スレハ稍不潔ナルカ漸次改築ノ計画ナリト云ヒ、今回本邦移民ヲ入レントスル「コンスタンシヤ」ニ於テハ本邦移民ノ用ニ充ツヘキ家屋六十二戸アリ、各戸ハ二室並ヒニ炊事場ヨリ成リ夫婦一組ニハ一戸ヲ供給スルコトニテ稍広キニ過キル位ニテ只通氣ヲ充分ナラシムル為メ天井ノ小窓ヲ少シク拡大スルノ必要アリト思考シ支配人ニ注意シタルニ移民到着前ニ必ラス修繕シ置クヘキ旨口約シ飲料水ハ井水ヲ用ヒ良好ナリ、其他

スル旨説明シタルニ支配人ニ於テモ之ヲ了解シ必スシモ急ヲ要セサレハ毎船少數宛供給ヲ受ケタシトノコトニテ将来多數本邦移民ヲ入ルル上ニ於テ頗ル有望ノ耕地ナルヲ以テ当初ヨリ撰択ヲ嚴重ニシ好成績ヲ挙クルニ努メ以テ耕主ヲシテ引続キ新契約ヲ締結セシムルコト最モ必要ナリト思考セラレ候

右報告申進候 敬具

三〇四 九月三日

在里馬森領事ヨリ
石井外務大臣宛

森岡移民合名会社及ラレド耕地間移民供給契約証認ノ件

公第四四号

(十月十八日接受)

大正五年九月三日

在里馬領事 森 安三郎(印)

外務大臣子爵 石井菊次郎殿

「ラ、リベルター」県ツルビーヨ州「サンタ、カタリナ」原野所在「ラレド」耕地所有主「イグナシオ、チョピテヤ」森岡移民合名会社間六ヶ月間ニ本邦夫婦移民二十組男子移民十名ヲ供給スヘキ本年五月十五日附契約書

一〇「ペルー」移民関係雑誌 三〇四

本邦移民ノタメ特ニ洗場、便所等ノ設備ヲ要シ此等ニ関シテモ悉ク耕地側ニ於テ築造ヲ約シタルカ聞ク所ニ依レハ其後同支配人ハチクリン耕地ニ赴キ親シク同耕地ニ於ケル此等ノ設備ヲ視察シ行ケリトノコトナレハ約東通り之ヲ設クルニ至ルヘシ

其他氣候ノ点ニ於テモ附近他耕地ト大差ナク当里馬等ニ比スレハ著シク勝リ居リ健康地ト云フヲ憚ラス、当国各地ニ存スル「テルシヤナ」ト称スル一種ノマラリヤ熱以外ニ特種ノ疾病ヲ見ス、病院ノ設備、医師ノ手当等ニ関シ何等欠点ヲ見ス

又同耕地ニ於ケル土人労働者ノ一日ノ労働分量等ヲ聞クニ他耕地ニ比シ毫モ重カラス而カモ本邦労働者ヘハ最モ適當セル除草、灌水、除根等ヲ課シ漸次製造場ニモ使用スヘシト云フ、

尚移民供給方ニ関シテモ一時ニ多數ヲ入ルル時ハ之ヲ操縦意ノ如クナラス種々ノ困難ヲ来スヲ例トシ少數宛數回ニ分ケテ入ルル方好成績ヲ挙クルコトヲ得、殊ニ着耕後ノ成績ノ良否ハ移民ノ撰択如何ニ依ルコト大ナルヲ以テ耕地ハ移民会社ヘ充分ノ時日ヲ与ヘ撰択ヲ完全ナラシムルヲ得策ト

本契約ハ之ヲ客年九月十七日附森岡ツマン耕地間契約ニ比スルニ其第一条ニ於テ移民員數ヲ前記ノ數トセルコト並ニ第九条ニ於テ手数料ノ支払ヲ移民「カヤオ」港到着ノ際ニスルコトトセル外他ニ何等相違ノ点ナシ、本耕地ヘハ大正二年十一月二十九日附契約ニ基キ客年十一月中ニ契約總數夫婦五十組ノ内二十五組ヲ入レ殘數ハ其儘トナリ居リシトコロ此回前契約ヲ取消シ右殘員夫婦二十五組ノ代リニ夫婦二十組男子十名ニ對スル新契約トナセシモノニシテ本官並爾然丁旅行中ニ締結セラレ旅行先ニ於テ通知ニ接シタルモ前契約ヲ取消シ新契約トスル理由分明セス、又契約証認ノ際本邦移民ニ對スル新家屋ノ建築ヲ条件トシタルニ其後実行ノ模様ナク移民到着前屢々森岡ヲシテ交渉セシメシモ結局旧家屋ニ収容スルニ至リタル事情アリ、今回新契約ヲ証認スルニハ前約ヲ履行セシムルノ必要アルニ付其旨回答シ置キタルニ帰館ノ上新契約トナシタルハ當時森岡本店ヨリ來秘中ノ店員同耕地視察ノ際契約殘員アルヲ知ラスシテ新契約ヲ結ヒタルニ依ルモノニシテ他ニ何等理由ナカリシコト分明シタルモ耕地出張ノ上親シク前回移民ノ成績耕地ノ取扱振方等視察シ許諾ヲ決スルコトトセリ視察ノ結果ニ依

レハ前回到着ノ夫婦移民二十五組ハ分耕地サンタ、ロサニ収容セラレ主トシテ甘蔗園ノ除草、水路掃除、種甘蔗切り、肥料掛ケ等ニ従事シ素ト純農ニアラスシテ體質虚弱労働ニ堪ヘサルモノ三組ヲ解約シ他ニ北米渡航ノ経歴ヲ有シ風紀紊乱ノ行為アリタルモノ一組ヲ放逐シタル外他ハ悉ク満足シテ労働シ居リ今ノ処逃亡ノ虞アルモノナク契約期間満了ノ後耕地ヲ出ツルモノ三四人ニ過キサルヘク他ハ引続キ耕地ニ止リテ労働スヘシト云ヒ一週間ノ平均労働日数五日位ニ当リ死亡者一名、病人ハ絶エス三四名アルモ何レモ輕キ間歇熱ニ過キス引続キ二日以上休業スルモノ稀ニ、仕事ハ比較的容易ニシテ時ニ「タレヤ」ヲ終ラサルコトアルモ翌日輕キ「タレヤ」ヲ与ヘテ之ヲ償フヲ以テ一日一ソール二十仙ハ確實ニ之ヲ取得シ居レリ、現在ノ移民住宅ハ他耕地ニ比シ劣リ居ルモ不健康ト云フ程ナラス、但シ将来改善ノ必要アリト思考セラル、

新築ノ製造場ハ規模大ナラスト雖モ十七軋子ノ新式圧搾機ヲ用ヒ当国甘蔗耕地中ニ於テハ最モ進歩シタルモノノ一ナリ、同所ニ労働スル本邦人三十三名アリ、今回ノ新契約ニヨル本邦移民ハ主トシテ此方面ノ仕事ニ使用スル予定ナリ

(別紙)

第五四号

書面契約案承認指令書

移民取扱人森岡移民合名会社

代表社員 保田 亀太郎

大正五年六月廿八日附並ニ同年八月廿九日附願出ニ係ル秘露国ローマ耕地行契約移民男式百名夫婦参加組取扱ニ関スル書面契約案承認願出ノ件

右承認ス

大正五年九月六日

外務大臣 石井 菊次郎(印)

三〇六 十月十日 在里馬森領事ヨリ
寺内兼任外務大臣宛

本邦移民ニ関スル秘露新聞記事送附ノ件

公第五〇号 (十一月二十九日接受)

大正五年十月十日

在里馬

領事 森 安三郎(印)

外務大臣伯爵 寺内正毅殿

ト云ヒ之ニ対スル新家屋ハ製造場附近ノ空地ニ建築スヘキ旨支配人誓約シタリ、同支配人カ本官ニ内話シタル所ニヨレハ行ク行クハ全部本邦人ヲ以テ経営シタキ考ナリトコトナルカ他ヨリ聞ク所ニヨルモ現支配人カ本邦移民ニ対シ同情ヲ有スルコト丈ケハ事実ナルカ如ク契約移民今後ノ成績ニシテ良好ナラハ将来多数ノ本邦移民ヲ容ルルノ余地ハ充分ニアルヘシト思考セラル、

依テ本契約ハ本月一日附ヲ以テ之ヲ証認致シ候

右報告申進候 敬具

三〇五 九月六日

坂田外務省通商局長ヨリ
西久保警視總監宛

秘露国ローマ耕地行契約移民ニ関スル書面契約案承認ノ件

約案承認ノ件

通送第五六四二号

本年七月五日附進第一六七一号ノ二並ニ本年九月一日附進第二二五七号ノ二ヲ以テ御進達相成候貴管下移民取扱人森岡移民合名会社ヨリ提出シタル秘露国ローマ耕地行契約移民ニ関スル書面契約案承認願ニ対シ別紙ノ通詮議相成候ニ付右申請者ニ御交付相成度此段申進候也

客月二十二日「ブレンサ」紙タ刊ハ里馬大工組合ヨリ労働者聯合組合ニ宛タル大略下記ノ如キ書状ヲ掲載シタリ

「近時政庁勸業省、陸軍參謀本部、其他ノ官衙ノ新築、又ハ修繕工事ニ於テ日本人労働者ニ対シ特別待遇ヲ与ヘ居ルノ事実ハ吾人ノ確聞スル所ニシテ元来右等工事ハ法規ニヨリ先ツ一般入札ニ附セラルベキモノナルニ嘗テ何等公告發布セラレタルコトナキハ甚ダ奇怪至極ニシテ且ツ先頃來「セメント」、鉄其他建築材料騰貴ノ結果民間ノ諸工事著シク減シ從テ吾人秘露職工ヲシテ閑散ニ苦シマシムル折柄政府工事ニ吾人ガ参加シ能ハザルニ於テハ如何ニ吾人ガ難境ニ処セルカヲ容易ニ察知スルヲ得ベシ、是ヲ以テ本組合ハ其決議ニヨリ貴組合ヲ通シテ政府、勸業省、市庁、市參事會ニ対シ今後外国人ト契約ヲ締結スルニ際シテハ工事請負者ヲシテ少クモ五割ノ秘露労働者ヲ使用スルノ義務ヲ負ハシムルノ条件ヲ附加シ以テ我労働社会ニ現存セル悲惨ナル状況ヲ幾分ナリトモ救済スルノ挙ニ出デラレンコトヲ請フモノナリ云々」

翌日同紙ハ下層社会ノ利害問題ト題セル論文ヲ掲ゲ前記文書ニ關聯シ本邦労働者及小商工業者(理髮業、古物商、雜

穀商、茶見世、菓子見世等ヲ指ス）ノ為メ秘露下層社会ノ蒙レル影響ヲ説キ耕地逃亡移民ノ都市集中ヲ以テ国家ニ対シ有害ナル現象ナリト警告シ、人口稀薄ニシテ地味豊饒ナル地帯ニ於テ富源ノ開発ニ從事セシムルヲ以テ彼我兩者ノ為メ有利ナリト勸メ秘露下層社会ニ同情シ当局ノ注意ヲ喚起スル所アリタリ

猶ホ近來各方面ニ於テ支那人ニ対スル排斥ノ声漸ク高ク現ニ客月二十七日下院議會ニ於ケル「ペナ、ムリエタ」氏ノ演説、同二十九日「コメルシオ」紙ノ「里馬ニ於ケル支那人街」三十日「クロニカ」紙ノ「支那移民禁止論」等孰レモ露骨ニ支那人排斥ノ急務ナルヲ説キタルモノナリ、而シテ本月七日主ナル諸新聞カ里馬在留支那人間禁煙同盟、学校及消防組ノ創設ヲ唱導セルモノアリトノ記事ヲ掲ゲタルハ一面支那人側ニ於ケル防禦運動ノ一部ナリト察セラル別紙本邦人ニ関スル「ブレンサ」紙論文切抜及訳文相添右報告申進候 敬具

註 「ブレンサ」紙論文切抜ヲ省略シ同訳文ノミヲ左ニ採録ス

シムルコト明白ナル事実ニシテ又産出物ノ僅少ナル国土ニトリテ他者ノ生産物ヲ單ニ消耗シ若シクハ搾取スル人口ノ増加ハ一層經濟的不均衡ヲ助長スルモノナルコトヲ認メサルベカラズ此理由ニヨリ吾人ガ嘗テ本紙上ニ於テ説キタル通り屢々秘露耕地日本移民ナルモノハ契約ヲ遵守セズ秘露到着後數日ニシテ耕地ヲ云リ然シテ市村ニ侵入シ来リ該処ニ於テ小商工業者ニ變ジ我國人ノ常ニ生活手段トスル職業ヲ独占スルニ至ルモノニシテ此ノ如キ労働ノ移入ハ我国家ノ利益ト一致スルモノニアラズ實ニ我下層社会ハ其生存ノ為メ余リニ強烈ナル競争ヲ開始セザルベカラズ夫ガ為メ一旦前途ニ於テ新ナル障害ニ遭遇スルヤ甘ンジテ苦惱ヲ忍バザルヲ得ザル次第ナリ

蓋シ日本移民ガ我國ニ対シ多大ノ利益アル勞役ヲ提供スルコトアリ、例ヘバ現ニ聖母河原ニ於テ為サル所ノモノノ如ク即チ人力ニヨルノ外饒多ナル收穫ヲ得ルノ望ナキ拡大ニシテ然モ肥沃ナル彼ノ山嶽地帯ニ於テ彼等ニ開放セル地域ヲ開墾シ以テ我農業的財源ヲ増加スルハ其従業者自身ニトリ充分ノ報酬アルノミナラズ又自然ニ公益ヲ増加スルコト尠ナカラズ既ニ米國ニ於テ墮落セル如キ感アル日出國人

(別紙)

下層社会ノ利害問題

我秘露國ニ於テ日本職工及小商工業者ノ數余リニ増加シ且ツ其生活並ニ労働ノ状況ハ我職工及小商工業者ヲシテ到底拮抗ヲ許サザルモノアルヲ以テ今ヤ当市ニ於ケル二三ノ労働団体ガ彼等ニ対シ防圧若シクハ憤慨ノ意ヲ漏シ来リタルコトヲ認ムルニ至レリ、

尤モ里馬市ニ於テ此現象ノ起レルハ今回ニ始マリタルモノニアラズ時々就職難若シクハ生活難又ハ此兩難ノ同時ニ出現スルニ當リ当國労働者ガ是等厄難ノ原因ヲ探究スルノ結果、劈頭第一ニ発見スル所ノモノハ外國労働者即チ亜細亞人職工及小商工業者ノ殺人的競争ナリ、而シテ彼等ノ經營セル狹隘ナル場裡ニ於テ輸贏競争ハントスル彼等移民ヲシテ海岸ニ近ツケシメズ次テ彼等ノ上ニ保護ヲ加ヘラレンコトヲ蒼惶國家ニ對シテ請願スルヲ常トス

此ノ如キ態度ハ幾分相当ノ根拠ヲ有スルモノト云フベシ彼等國人ガ愁訴スル所ノ競争ナルモノハ畢竟彼等ヲシテ敗亡ニ終ラシムルノミナラズ引テ其職業ヲ失ハシメ更ニ彼等ヲ怠惰ニ陥ラシメ且ツ将来ニ對スル準備ト計策トヲ皆無ナラ

ハ如上ノ意義ヲ以テ前進セヨ

乍併同時ニ問題ノ他ノ一面即チ労働階級ノ大多數ノ嫌惡ト不平ノ由テ起ル所ヲ考察シ——昨日第二版ニ掲ケタル職工等ノ嘆願書ノ通り——吾人ガ前述ノ通り實際ニ於テ秘露労働者ノ生活ヲ更ニ困難ニ且ツ苦痛ナラシムル競争ノ影響ヲ出来得ル限り減殺又ハ緩和スルノ手段ヲ案出セヨ

人或ハ是等ノ困難及辛苦ノ存在ヲ立証セズ、又ハ之ヲ否定シ又ハ全然労働社会衰心ヨリ出ヅル哀訴ヲ以テ犠牲トシテ現出セントノ熱望ヨリ出ヅルモノトシ奇怪ナル權勢ト看過シ去ル者アルベシ、

然レトモ事實ハ大ニ之ニ反シ生活費ハ數年來異常ノ割合ヲ以テ昇騰シ労働賃銀ハ其欠乏ト閑聯シ騰貴之ニ伴ハズ真ノ下級社会ニ於ケル生活ノ困難ハ慘憺ノ極ニ達セルモノナリ、此ノ如キヲ以テ國家ハ是等ノ困難ニ加フルニ職業難ヲ以テスルコトヲ避ケンガ為メ必要ナル準備ヲ調フルニ留意スベキナリ(了)

三〇七

十月十八日 保田森岡移民会社代表社員ヨリ
寺内兼任外務大臣宛

秘露國ラレド耕地行契約移民ニ係ル書面契約

案承認願出ノ件

今般南米秘露国ラレド耕地所有者ホセー、イグナシヨ、チヨピテヤ氏トノ間ニ契約移民夫婦式拾組男拾名ノ供給契約ヲ締結仕候ニ付弊社ト移民間ニ締結スヘキ書面契約案別紙ノ通用仕度候間右御承認被成下度関係書類相添此段奉願候也

大正五年拾月拾八日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民合名会社

代表社員 保田 亀太郎(印)

外務大臣伯爵 寺内正毅殿

書 本件書面契約承認願ハ警視庁ヲ經由シ同庁ヨリ大正五年十月二十一日發送第三八一〇号ノ二ヲ以テ送附越セリ尚別紙関係書類ハ省略セリ

三〇八 十月三十日

坂田外務省通商局長ヨリ
岡田警視総監宛

秘露国ランド耕地行契約移民ニ関スル書面契約案承認ノ件

通送第六七六四号

本月二十一日附進第三八一〇号ノ二ヲ以テ御進達相成候貴管下移民取扱人森岡移民合名会社ヨリ提出シタル秘露国ラレド耕地行移民ニ関スル書面契約案承認願ニ対シ別紙ノ通詮議相成候ニ付右申請者ニ御交付相成度此段申進候也
(別紙)

第六五号

書面契約案承認指令書

移民取扱人森岡移民合名会社

代表社員 保田 亀太郎

大正五年十月十八日附秘露国ラレド耕地行契約移民夫婦式拾組男拾名取扱ニ関スル書面契約案承認願出ノ件
右承認ス

大正五年十月三十日

外務大臣伯爵 寺内正毅(印)

三〇九 十一月七日

在里馬森領事ヨリ
寺内兼任外務大臣宛(電報)

森岡会社取扱ノ「パラモンガ」耕地行移民契約承認ノ件

号外

Paramonga 森岡間明年一月以降十四ヶ月間ニ夫婦百七十

五組供給契約承認セリ条件同耕地トノ前契約同様

三一〇 十一月七日

在里馬森領事ヨリ
寺内兼任外務大臣宛

森岡移民合名会社及パラモンガ農業会社間本邦移民供給契約証認ノ件

附屬書

十一月二日附森岡代理人ヨリ森領事ニ提出ノ「パラモンガ耕地ニ於ケル日本移民状況書」

公第五五号

(十二月十六日接受)

大正五年十一月七日

在里馬領事 森 安三郎(印)

外務大臣伯爵 寺内正毅殿

前記両会社間本年九月二十五日附契約ハ之ヲ同社間昨年二月二十三日附契約ト比シ其第一条ニ於テ移民ノ員数ヲ夫婦百七十五組トシ之カ供給期間ヲ十四ヶ月間トシ明年一月ノ便船ヲ以テ先ツ五十組ヲ爾後便船毎ニ二十五組宛ヲ輸送スルコトトセル外全然同一ニシテ同耕地ニ於ケル本邦移民ノ成績近來稍良好トナリ來レルヤニ思考セラレ候ニ付本契約ハ本日之ヲ証認致候尚御参考ノ為メ当地森岡代理人提出同耕地本邦移民状況書添付致候尚森岡依頼ニヨリ本日左ノ通

リ及電報候

「パラモンガ」森岡間明年一月以降十四ヶ月間ニ夫婦移民百七十五組供給契約証認セリ条件同耕地トノ前契約同様此段報告申進候 敬具

(附屬書)

パラモンガ耕地ニ於ケル日本移民状況書

パラモンガ耕地在留日本人ノ數ハ約壹百貳拾名ニシテ内耕地労働ニ従事スルモノ九拾名内外ナラント存候而シテ最近契約ニ属スルモノノ成績ハ左ノ如クニ候

到着員數 逃亡員數 放逐員數

大正四年七月着

九三

三九

一

同年九月着

三

一

〇

合計

九六

四〇

一

逃亡移民ノ數ハ大正參年六月着九十二名同年八月着八名合計壹百名到着セシモノノ中逃亡者解約者ヲ合セ七十三名ノ多キニ達セルニ比シ漸次通減セリト雖モ未タ以テ良好ナリト謂フ能ハサルハ家屋ノ点ニ原因セリト考ヘラレ候
前回ノ移民ハ全部三個ノ大ナル部屋ニ收容シ所謂雜居ニテ誠ニ殺風景ヲ極メ縱令労働ニ慣ルルモ居ハ氣ヲ移シテ心落

付カス自然逃亡ノ念ヲ萌シ之カ実行ニ与ツテ力アリト存候

今回ハ之ニ反シ旧家屋ハ全部改築ヲ終リ最初夫婦五十組以後毎船夫婦二十五組到着スルモ之カ收容ニ何等差支ヲ生セス候

家屋ノ構造ハ頗ル嶄新ニシテチクリン耕地ノ夫ニ比シ大差ナク一戸ハ二室トコラルト有シ單身者ハ四名若クハ五名、夫婦者ハ二組ヲ收容スル都合ニ候從テ此方面ニ於テ從來ニ比シ遙ニ逃亡減少シ良好ナル成績ヲ挙げ得ルナラント存候

衛生状態ニ至リテハ前回九十六名ノ移民中一名ノ病死者ナク亦病患者モ極メテ稀ナルニ徴シ以テ其良好ナルカ察セラレ候

大正五年拾壹月貳日

森岡移民合名会社代理人

飯田 勘之助(印)

三一一 十一月七日

在里馬森領事ヨリ
寺内兼任外務大臣宛

森岡移民合名会社及サンニコラス農業会社間

号外

(十一月十一日接受)

San Agustín 森岡契約移民供給紀洋丸迄延期セリ

三一二 十一月十三日

中村外務省通商局長ヨリ
岡田警視總監宛

秘露国サン、アグスチン耕地行移民殘員ニ関

スル件

通送第六九五四号

森岡移民合名会社ノ取扱ニ係ル秘露国サン、アグスチン耕地行契約移民渡航殘員供給方紀洋丸迄延期セル旨在里馬森領事ヨリ電報有之候条此段及通知候也

三一四 十一月十九日

保田森岡移民会社代表社員ヨリ
寺内兼任外務大臣宛

秘露国バラモンガ耕地行契約移民ニ係ル書面

契約案承認願提出ノ件

今般南米秘露国バラモンガ耕地所有者バラモンガ農業株式会社トノ間ニ前回ト同一条件ノ下ニ契約移民夫婦百七拾五組ヲ明年一月ヨリ拾四箇月間ニ供給ノ契約ヲ締結仕候旨及右ニ関シ在秘露国里馬市帝國領事館ヨリ御省宛公電有之候旨電報通知有之候ニ就テハ弊社ト移民トノ間ニ締結スヘキ

本邦移民供給契約証認ノ件

公第五六号

大正五年十一月七日

(十二月十六日接受)

在里馬 領事 森 安三郎(印)

外務大臣伯爵 寺内正毅殿

前記両会社間本年十月九日附契約ハ之ヲ本年六月二十一日附同会社間ノ契約ニ比シ其第一条ニ於テ移民ノ員數ヲ男子三百名夫婦百組トシ之カ供給期間ヲ十四ヶ月間トセル外全然同一ニシテ耕地ノ現状亦極メテ平穩ニシテ何等苦情ヲ聞カス依テ本契約ハ本日之ヲ証認致候

唯近來契約移民ノ供給上兎角遲延ノ傾アリテ雇主ヲシテ不便ヲ感セシムルコトアルヤニ思考セラルルヲ以テ成ルヘク約束期限内ニ所要ノ員數ヲ渡航セシムル様取計方当地森岡代理人ヘ注意致置候得其尚本社ヘ対シテモ可然御訓達相成様致度此段申進候 敬具

三一二 十一月九日

在里馬森領事ヨリ
寺内兼任外務大臣宛(電報)

森岡坂サン、アグスチン耕地行移民殘員供給

延期ノ件

書面契約別紙案文ノ通使用致度候間右御承認被成下度關係書類相添此段奉願候也

大正五年拾壹月拾九日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民合名会社

代表社員 保田 龜太郎(印)

外務大臣伯爵 寺内正毅殿

註 本件書面契約案承認願ハ警視庁ヲ經由シ同庁ヨリ大正五年

十一月二十五日發送進第四二八六号ノ二ヲ以テ送附越セリ

尚別紙關係書類ハ省略セリ

三一五 十二月二日

中村外務省通商局長ヨリ
岡田警視總監宛

秘露国バラモンガ耕地行契約移民ニ関スル書

面契約案承認ノ件

通送第七三一四号

本月二十五日付進第四二八六号ノ二ヲ以テ御進達相成候貴管下移民取扱人森岡移民合名会社ヨリ提出シタル秘露国バラモンガ耕地行契約移民ニ関スル書面契約案承認願ニ対シ別紙ノ通詮議相成候ニ付右申請者ニ御交付相成度此段申進

候也

(別紙)

第七九号

書面契約案承認指令書

移民取扱人森岡移民合名会社

代表社員 保田 亀太郎

大正五年十一月十九日附秘露国パラモンガ耕地行契約移民夫婦百七拾五組取扱ニ関スル書面契約案承認願出ノ件
右承認ス

大正五年十二月二日

外務大臣法学博士 子爵 本野 一郎 (印)

三二六 十二月十四日 保田森岡移民合名会社代表社員ヨリ
岡田警視總監宛

秘露国パラモンガ耕地行契約移民募集届出ノ件

弊社取扱秘露国パラモンガ耕地行契約移民夫婦百七十五組ニ対シ左記移民募集地方別予定表ノ通募集仕候間此段御届申上候也

大正五年拾貳月拾四日

合計 百七拾五組

註 本件移民募集地ハ其後數次ノ變更アリタリ

三一七 十二月十六日 岡田警視總監ヨリ
本野外務大臣宛

パラモンガ耕地移民募集届出報告ノ件

第三〇九号ノ二

大正五年十二月十六日

警視總監 岡田 文次 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

移民取扱人森岡移民合名会社ノ取扱ニ係ル秘露「パラモンガ」耕地行契約移民今般別紙ノ通割当募集ノ旨届出候条此段報告候也

註 別紙省略

三二八 十二月二十七日 保田森岡移民合名会社代表社員ヨリ
本野外務大臣宛

秘露国サン、ニコラス耕地行契約移民ニ係ル

書面契約案承認願出ノ件

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民合名会社

代表社員 保田 亀太郎 (印)

警視總監 岡田文次殿

左記

移民募集地方別予定表

県別	人員
福島県	夫婦 五組
山形県	夫婦 五組
新潟県	夫婦 五組
和歌山県	夫婦 五組
岡山県	夫婦 五組
広島県	夫婦 五組
山口県	夫婦 五組
佐賀県	夫婦 五組
三重県	夫婦 五組
島根県	夫婦 五組
静岡県	夫婦 五組
熊本県	夫婦 五組
未定県	夫婦 五組

今般南米秘露国サン、ニコラス耕地所有者タル有限責任サン、ニコラス農業会社トノ間ニ契約移民男参百名夫婦壹百組ノ供給契約ヲ締結仕候ニ付弊社ト移民間ニ締結スヘキ書面契約案別紙ノ通使用仕度候間右御承認被成下度関係書類相添此段奉願候也

追テ耕主ヨリ最近便ニ送付方申越候ニ付大正六年一月二十三日出帆紀洋丸便ニテ僅少ニテモ間ニ合フ様致度候ニ付特別ノ御詮議ヲ以テ至急御承認方御取計被成下度追願候也

大正五年拾貳月貳拾七日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民合名会社

代表社員 保田 亀太郎 (印)

外務大臣子爵 本野 一郎殿

註 本件書面契約承認願ハ警視庁ヲ經由シ同庁ヨリ大正五年十二月二十七日発送進第四七六四号ノ二ヲ以テ送附セリ尚別紙関係書類ハ省略セリ